

2026年6月26日

各位

会社名 オムニ・プラス・システム・リミテッド  
(OMNI-PLUS SYSTEM LIMITED)  
代表者名 最高経営責任者 (Chief Executive Officer)  
ネオ・プアイ・ケオン  
(Neo Puay Keong)  
(コード番号: 7699 東証グロース)  
問合せ先 株式会社 OMNI-PLUS SYSTEM Japan  
代表取締役社長 重田 直行  
(03-6841-3922)

## 支配株主等に関する事項について

当社の支配株主等に関する事項は、以下のとおりです。

### 1. 親会社、支配株主（親会社を除く。）、その他の関係会社又はその他の関係会社の親会社の商号等

(2026年3月31日現在)

名称	属性	議決権所有割合 (%)			発行する株券が上場されている金融商品取引所等
		直接所有分	合算対象分	計	
Neo Puay Keong	支配株主 (親会社を除く。)	38.30	26.75	65.05	非上場
伊藤忠商事株式会社	その他の関係会社の親会社	0.00	25.24 (間接所有)	25.24	株式会社東京証券取引所 プライム市場
ITOCHU Plastics Pte. Ltd.	その他の関係会社	25.24	0.00	25.24	非上場

### 2. 親会社等のうち、当社に与える影響が最も大きいと認められる会社の名称及びその理由

名称	伊藤忠商事株式会社
理由	同社は、ITOCHU Plastics Pte. Ltd. の親会社であり、間接的保有ではあるが当社の発行済株式総数に対する議決権所有割合が25.24%であるため

### 3. 親会社等の企業グループにおける当社の位置付けその他の当社と親会社等との関係

ITOCHU Plastics Pte. Ltd. は、当社のその他の関係会社であり、当社議決権25.24%を所有しております。ITOCHU Plastics Pte. Ltd. との人的関係につきましては、1名が当社の非業務執行取締役を兼務しておりますが、これは同社との関係を強固にし、株主的視点による当社経営への支援を目的として就任したものであり、また、当社の取締役の7名中1名に留まることから、当社独自の経営判断に支障をきたすことはありません。

当社は、伊藤忠グループ内の化学品部門に属しており、伊藤忠グループ各社との間で原料調達や製商品販売等の取引がありますが、当社グループと伊藤忠グループ会社との間の取引条件は、他の同様の第三者との商取引及び独立した対等な関係での取引と同様に設定されております。

なお、本書の提出日現在、当社グループの重要な経営判断を制限するような仕組みはありません。

(役員の兼務状況)

(2026年6月26日現在)

役職	氏名	その他の関係会社での役職	就任理由
非業務執行取締役	桑名 隆行	取締役社長	同社で培われた豊富な経験や専門的な知見を当社の経営に活かして頂くため

4. 支配株主等との取引に関する事項

当社グループと ITOCHU Plastics Pte.Ltd. との取引金額については、下記の通りです。

	2025年3月期 千米ドル (百万円)	2026年3月期 千米ドル (百万円)
ITOCHU Plastics Pte.Ltd. に対する売上	430 (69)	229 (37)
ITOCHU Plastics Pte.Ltd. からの仕入	16,248 (2,629)	14,689 (2,376)

注：括弧内に表示されている金額は、便宜上2026年6月25日現在の三菱UFJ銀行の対顧客電信直物  
売買相場の仲値に基づき1米ドル=161.82円で換算された金額です。

当社グループの顧客基盤が伊藤忠グループと異なるため、取り扱う製商品や事業領域が分かれており、当社グループと伊藤忠グループとの間での事業上の競合は発生しておりません。

5. 支配株主との取引等を行う際における少数株主の保護の方策の履行状況

支配株主との取引については、少数株主に不利益を与えることがないように適切に対応しております。具体的には、取引の実施に際して、当該取引が当社グループの経営の健全性を損なっておらずかつ有効であるか、取引条件は他の独立第三者との取引と比較して同等の条件であるか等に留意して、その取引の事業上の必要性および合理性さらに取引条件の妥当性について、取締役会において確認の上で意思決定しております。

6. その他投資者が会社情報を適切に理解・判断するために必要な事項

将来的なその他親会社等との関係において、現時点で変更の予定はございません。

以上